



2021年12月期 第2四半期決算説明会


2021年8月5日
JUKI株式会社

第1部 2021年12月期（2021年度）上期業績の概要

- | | |
|---------------|----|
| 1. 業績推移 | 3 |
| 2. 経常利益増減要因 | 4 |
| 3. 主要財務項目推移 | 5 |
| 4. セグメント別業績推移 | 6 |
| 5. 通期業績予想 | 10 |

第2部 中期経営計画（2021-2022）の取り組みと2021年度下期の重点施策

- | | |
|------------------|----|
| 1. 中期経営計画の取り組み | 12 |
| 2. 2021年度下期の重点施策 | 19 |

A blue-toned world map with a network of white lines and dots overlaid, representing global connectivity. The text is centered over the map.

第1部
2021年12月期（2021年度）
上期業績の概要

2021年12月期（2021年度） 上期業績推移

売上高は、一部国・地域で新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、お客様の工場稼働率向上や設備投資需要回復が進んだことに加え、各事業において市場回復期の需要取り込みなど全社的に営業活動を展開した結果、前年同期比54.4%の増加。

利益面は、売上の増加及び工場稼働率が向上したことに加え、コスト構造改革で抑制した固定費削減の継続に努めた結果、経常利益は前年比51億円の増益。

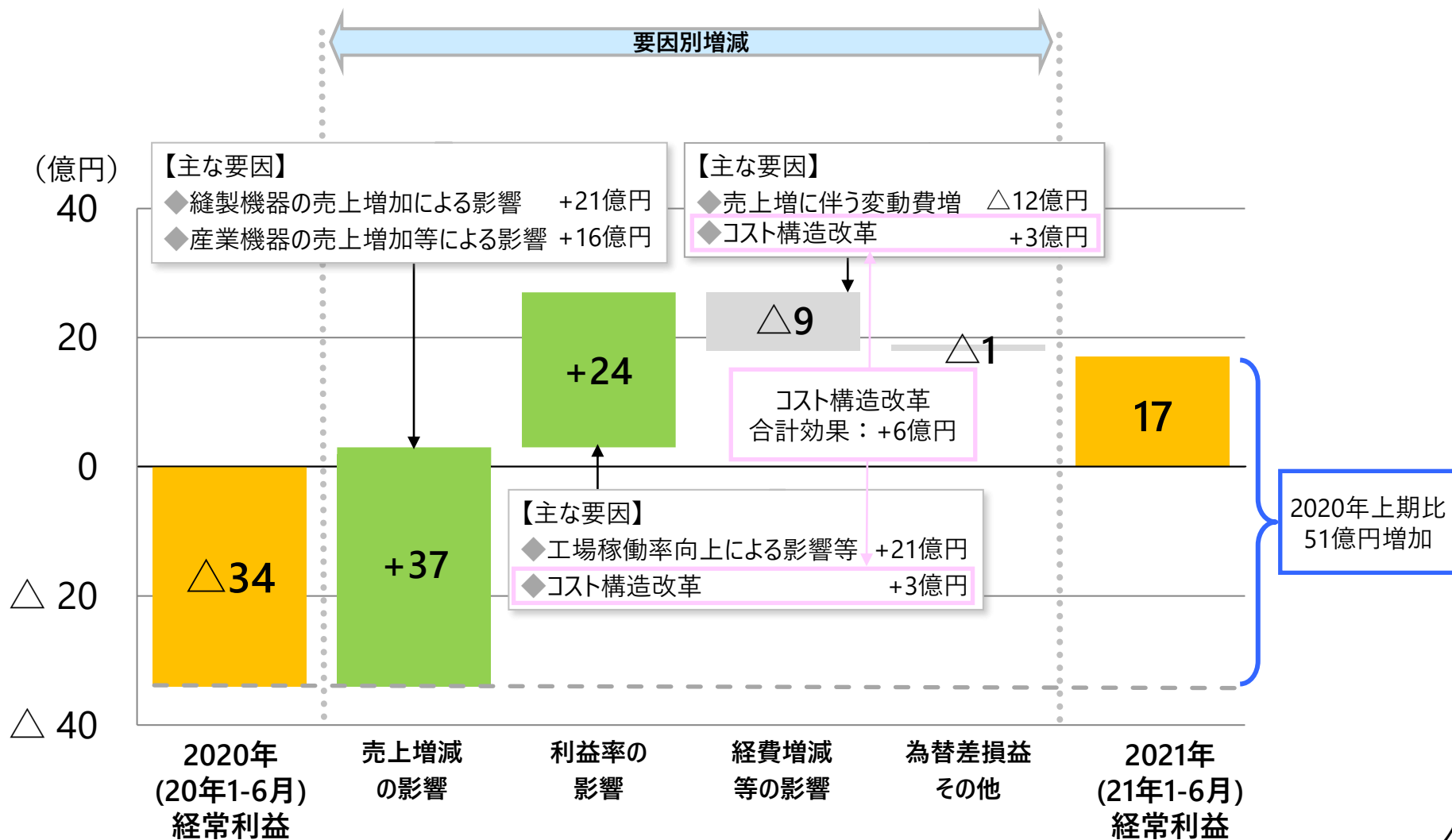
(単位:百万円)

	20/12期 (2020年度)			21/12期 (2021年度)			前年同期比 増減額 〈B-A〉 (増減率)
	1Q	2Q	上期 〈A〉	1Q	2Q	上期 〈B〉	
	20年1-3月	20年4-6月	20年1-6月	21年1-3月	21年4-6月	21年1-6月	
売上高	16,860	13,636	30,496	21,883	25,215	47,098	16,601 (54.4%)
営業利益 [営業利益率]	△1,472 [-]	△1,996 [-]	△3,468 [-]	326 [1.5%]	1,582 [6.3%]	1,908 [4.1%]	5,377 (-)
経常利益 [経常利益率]	△1,732 [-]	△1,710 [-]	△3,442 [-]	205 [0.9%]	1,511 [6.0%]	1,716 [3.6%]	5,158 (-)
当期純利益 [当期純利益率]	△1,836 [-]	△2,066 [-]	△3,902 [-]	141 [0.6%]	1,080 [4.3%]	1,221 [2.6%]	5,124 (-)

為替 レート	ドル ユーロ	109円 121円	108円 119円	108円 120円	106円 128円	110円 132円	108円 130円	±0円 +10円
-----------	-----------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------

* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

利益面は、売上の増加及び工場稼働率が向上したことに加え、コスト構造改革で抑制した固定費削減の継続に努めた結果、経常利益は前年比51億円の増益。



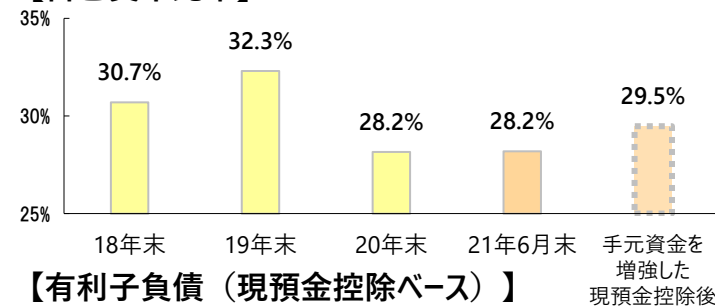
主要財務項目推移

総資産は、売上債権や棚卸資産が増加したことなどにより前年比83億円増、自己資本比率は28.2%。

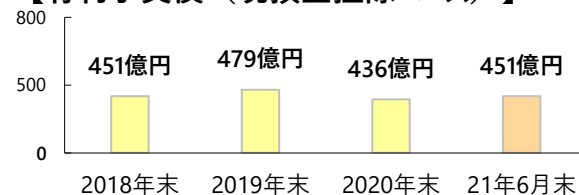
有利子負債※1は、売上増加に伴う運転資本の増加により現預金控除ベースで451億円と、前年比15億円増。

(単位:百万円)	20/12期 (20年12月末) 〈A〉	21/12期 (21年6月末) 〈B〉	増減額 〈B-A〉	
総資産	110,230	118,503	8,273	
純資産 [為替換算調整勘定]	31,368 [△4,063]	33,771 [△2,438]	2,402 [1,625]	
純資産比率	28.5%	28.5%	0.0%	
自己資本比率	28.2%	28.2%	0.0%	
売上債権 [売上債権回転期間]	23,326 [4.0ヵ月]	27,926 [3.6ヵ月]	4,599 [△0.4ヵ月]	
在庫 [在庫回転期間]	36,709 [6.3ヵ月]	42,391 [5.4ヵ月]	5,681 [△0.9ヵ月]	
仕入債務 [仕入債務回転期間]	10,128 [1.7ヵ月]	15,539 [2.0ヵ月]	5,410 [0.3ヵ月]	
有利子負債	57,443	56,273	△1,170	
現預金	13,831	11,134	△2,696	
為替レート (期末)	ドル	104円	111円	+7円

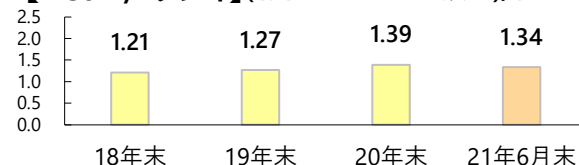
【自己資本比率】



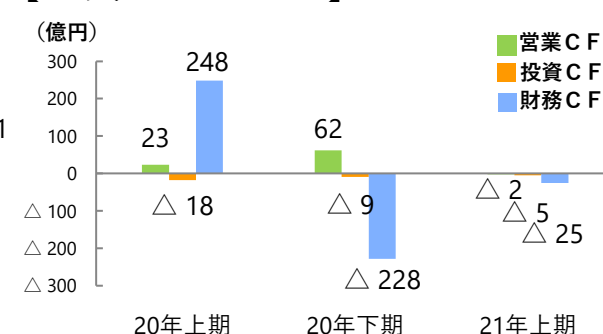
【有利子負債（現預金控除ベース）】



【Net D/Eレシオ】(有利子負債－現預金)/純資産



【キャッシュ・フロー】



縫製機器 & システムは、欧米、中国等の市場の活性化により縫製工場の稼働率が向上増加したことに加え、家庭用ミシンの売上高も年初までの新型コロナ感染拡大に伴う巣ごもり需要拡大により、欧米市場で増加した結果、全体の売上高は290億5百万円。(対前年比57.3%増)

産業機器 & システムは、産業装置では、中国等を中心に5G関連等の設備投資需要を捉え、高速機を中心に戦略的な拡販を進め、対前年比90.8%増と売上が回復。また、国内を中心とした受託加工等のグループ事業の売上も増加に転じた結果、全体の売上高は179億7千9百万円。(対前年比50.6%増)

(単位:百万円)

	20/12期 (2020年度)			21/12期 (2021年度)			前年同期比 増減額 〈B-A〉 (増減率)
	1Q	2Q	上期 〈A〉	1Q	2Q	上期 〈B〉	
	20年1-3月	20年4-6月	20年1-6月	21年1-3月	21年4-6月	21年1-6月	
縫製機器 & システム	10,662	7,780	18,442	13,621	15,384	29,005	10,563 (57.3%)
産業機器 & システム	6,140	5,800	11,940	8,208	9,771	17,979	6,039 (50.6%)
その他	57	56	113	54	59	113	0 (0.0%)
合計	16,860	13,636	30,496	21,883	25,215	47,098	16,602 (54.4%)
グループ事業	2,520	1,942	4,462	2,509	2,554	5,063	601 (13.5%)

セグメント別業績推移 - 経常利益 -

縫製機器&システムは、売上の増加及び工場稼働率の向上並びにコスト削減の継続により、セグメント利益（経常利益）は前年比28億2千9百万円の増益。

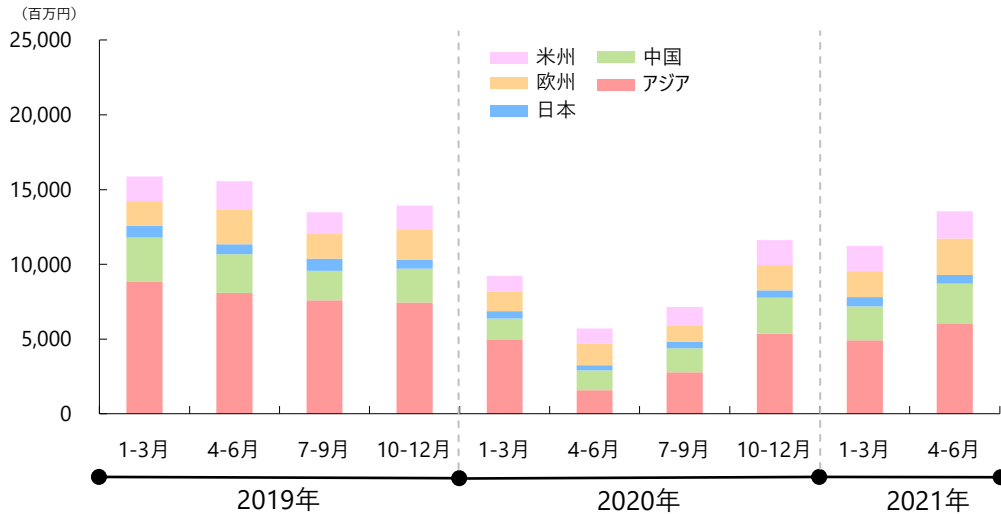
産業機器&システムは、売上の増加及び工場稼働率の向上並びにコスト削減の継続により、セグメント利益（経常利益）は前年比17億4千6百万円の増益。

(単位:百万円)

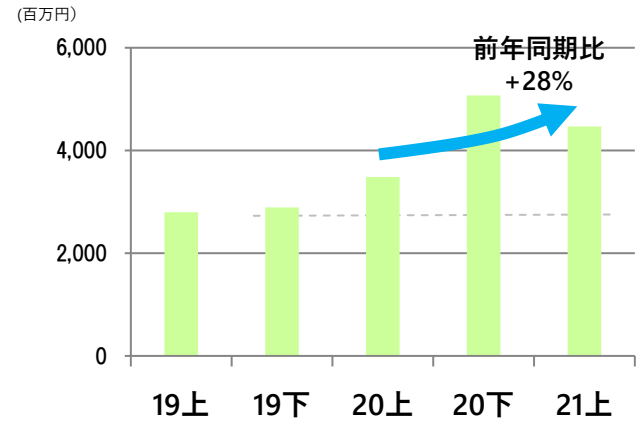
	20/12期 (2020年度)			21/12期 (2021年度)			前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	1Q	2Q	上期 <A>	1Q	2Q	上期 	
	20年1-3月	20年4-6月	20年1-6月	21年1-3月	21年4-6月	21年1-6月	
縫製機器 & システム [経常利益率]	△922 [-]	△879 [-]	△1,801 [-]	247 [1.8%]	781 [5.1%]	1,028 [3.5%]	2,829 (-)
産業機器 & システム [経常利益率]	△384 [-]	△231 [-]	△615 [-]	197 [2.4%]	934 [9.6%]	1,131 [6.3%]	1,746 (-)
その他	19	22	41	17	20	37	△4
調整額	△445	△621	△1,066	△257	△224	△481	585
合計	△1,732 [-]	△1,710 [-]	△3,442 [-]	205 [0.9%]	1,511 [6.0%]	1,716 [3.6%]	5,158 (-)

- 工業用ミシンは、欧米、中国等の市場の活性化により縫製工場の稼働率が向上し、前年同期比66%増加。
- 家庭用ミシンは、年初までの新型コロナ感染拡大に伴う巣ごもり需要拡大により、前年同期比28%増加。

1. 【工業用ミシンの地域別売上高推移】 (月次集計ベース)



2. 【家庭用ミシンの売上推移】



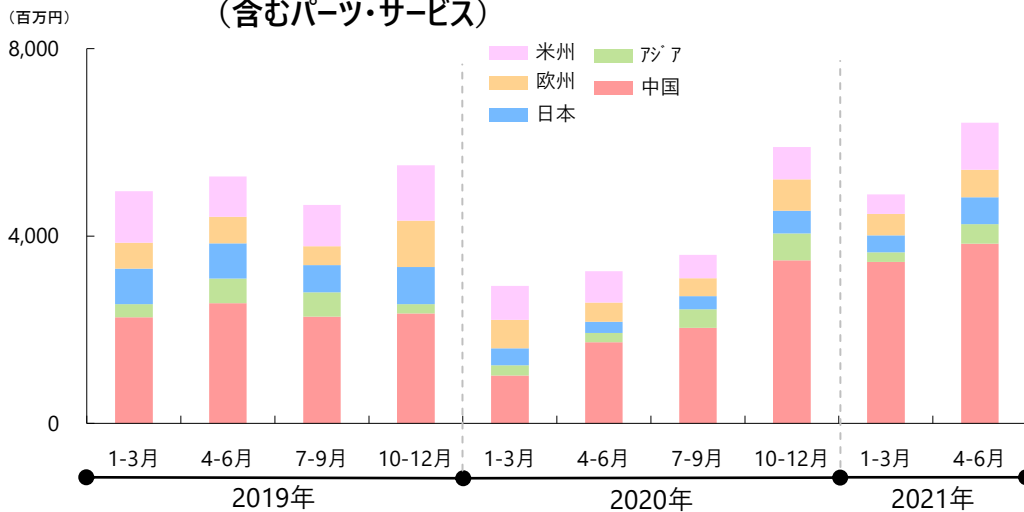
【売上高：前年同期比較】

(単位：億円)

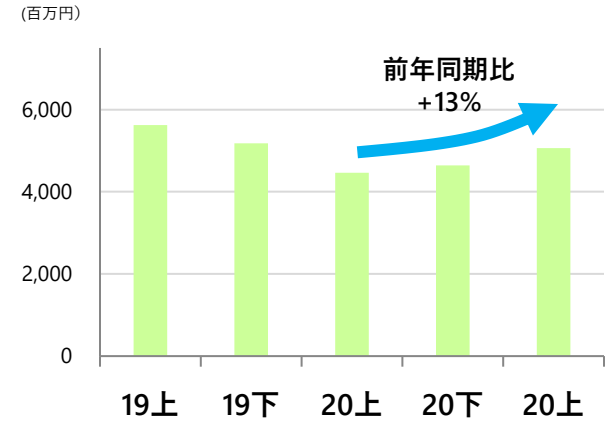
	2020年 (1-6月)	2021年 (1-6月)	増減額	(増減率)
中国	27	49	+22	(+82%)
アジア	66	110	+44	(+67%)
中国+アジア	93	159	+66	+71%
日本	8	12	+4	(+42%)
欧州	28	42	+14	(+52%)
米州	20	35	+15	(+72%)
合計	149	248	+99	+66%

産業装置は、中国等を中心に5G関連等の設備投資需要を捉え、高速機を中心に戦略的な拡販を進めた結果、前年比で83%増加。

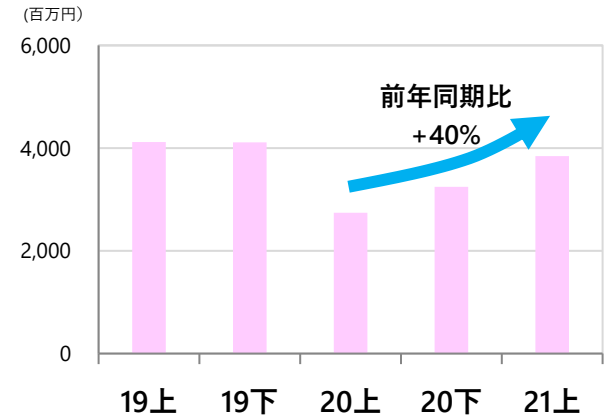
1. 【産業装置の地域別売上高推移】 (月次集計ベース)



2. 【グループ事業の売上推移】



3. 【パーツ事業の売上推移】



【売上高：前年同期比較】

(単位：億円)

	2020年 (1-6月)	2021年 (1-6月)	増減額	(増減率)
中国	28	73	+45	(+165%)
アジア	4	6	+2	(+51%)
中国+アジア	32	79	+47	+150%
日本	6	9	+3	(+53%)
欧州	10	10	+0	
米州	14	14	+0	
合計	62	113	+51	+83%

2021年12月期(2021年度) 業績予想

欧米、中国は新型コロナ感染拡大による影響から回復しつつあるものの、アジアの新興国ではロックダウンが行われるなど、新興国での事業環境が不透明であることから、前回公表値から変更していません。今後、事業環境など当社の業績に与える影響を勘案した上で、予想値について精査してまいります。

(億円)

	2021年度 上期(1-6月)	2021年度 通期(1-12月)	2020年度 通期(1-12月)	前年通期差異 〈A - B〉 []は増減率
	実績	予想 〈A〉	実績 〈B〉	
売上高	470	1,000	704	+296 [+42.0%]
(縫製機器 & システム)	(290)	(620)	(427)	(+193) [+45.2%]
(産業機器 & システム)	(179)	(377)	(274)	(+103) [+37.6%]
営業利益	19	31	△45	+76
経常利益	17	28	△40	+68
当期純利益	12	20	△47	+67
配当	-	通期：25円/株	通期：20円/株	+5円
為替レート	1ドル=108円	1ドル=102円	1ドル=107円	△5円

A world map in shades of blue with a network of white lines and dots overlaid, representing global connectivity and technology.

第2部

中期経営計画(2021-2022)の 取り組みと2021年下期の重点施策

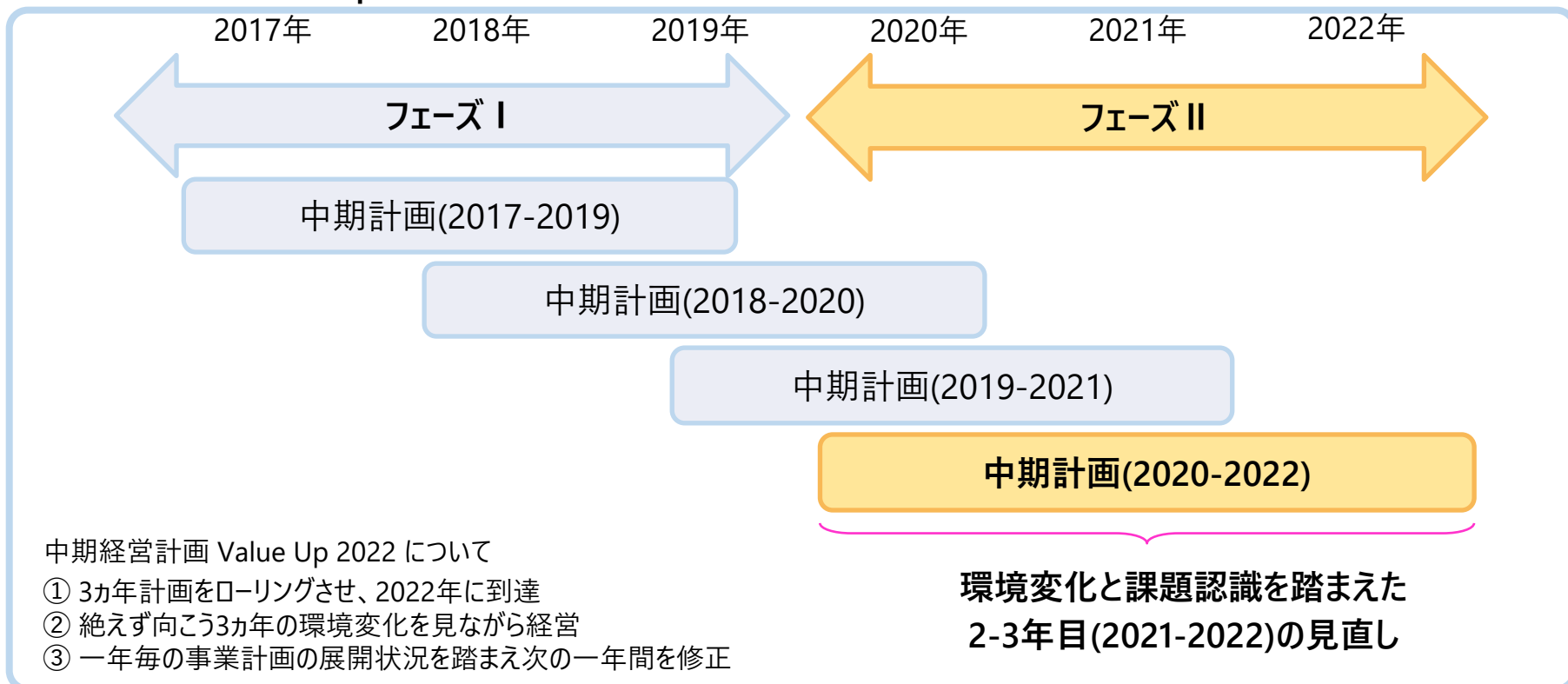
2021-2022 中期経営計画の位置づけ

中期経営計画 Value Up 2022 フェーズII である中期計画2020-2022を、現在の事業環境/自社課題を踏まえ見直し(2022年ビジョンは変わらず)

2022年ビジョン
(目指すゴール)

お客様とJUKIが製品・サービスを通じて企業価値を向上できる“モノ-コト”づくり企業
～ スマートファクトリーに向けてWinWinのパートナーへ～

中期経営計画 Value Up 2022



中期経営計画 Value Up 2022 について

- ① 3カ年計画をローリングさせ、2022年に到達
- ② 絶えず向こう3カ年の環境変化を見ながら経営
- ③ 一年毎の事業計画の展開状況を踏まえ次の一年間を修正

環境変化と課題認識を踏まえた
2-3年目(2021-2022)の見直し

ニューノーマルに対応した新しいビジネスモデル/経営基盤の構築が必須

事業環境

ニューノーマルへの対応

各国でロックダウンが続く等、未だコロナ影響は続くものの、市場は回復傾向(顧客ニーズは更に深化/多様化)

米中貿易摩擦

バイデン政権による対中政策(経済/安全保障/人権)の影響により、サプライチェーン分断リスクが更に高まる。

また半導体等の電子部品の供給不足への対応が課題

技術革新の加速

AI/IoT/5G等、先端技術を活用した製品/サービスの市場への導入拡大

競争環境

工業用ミシン: 競合他社は新興国に加え、ニッチ分野で拡大

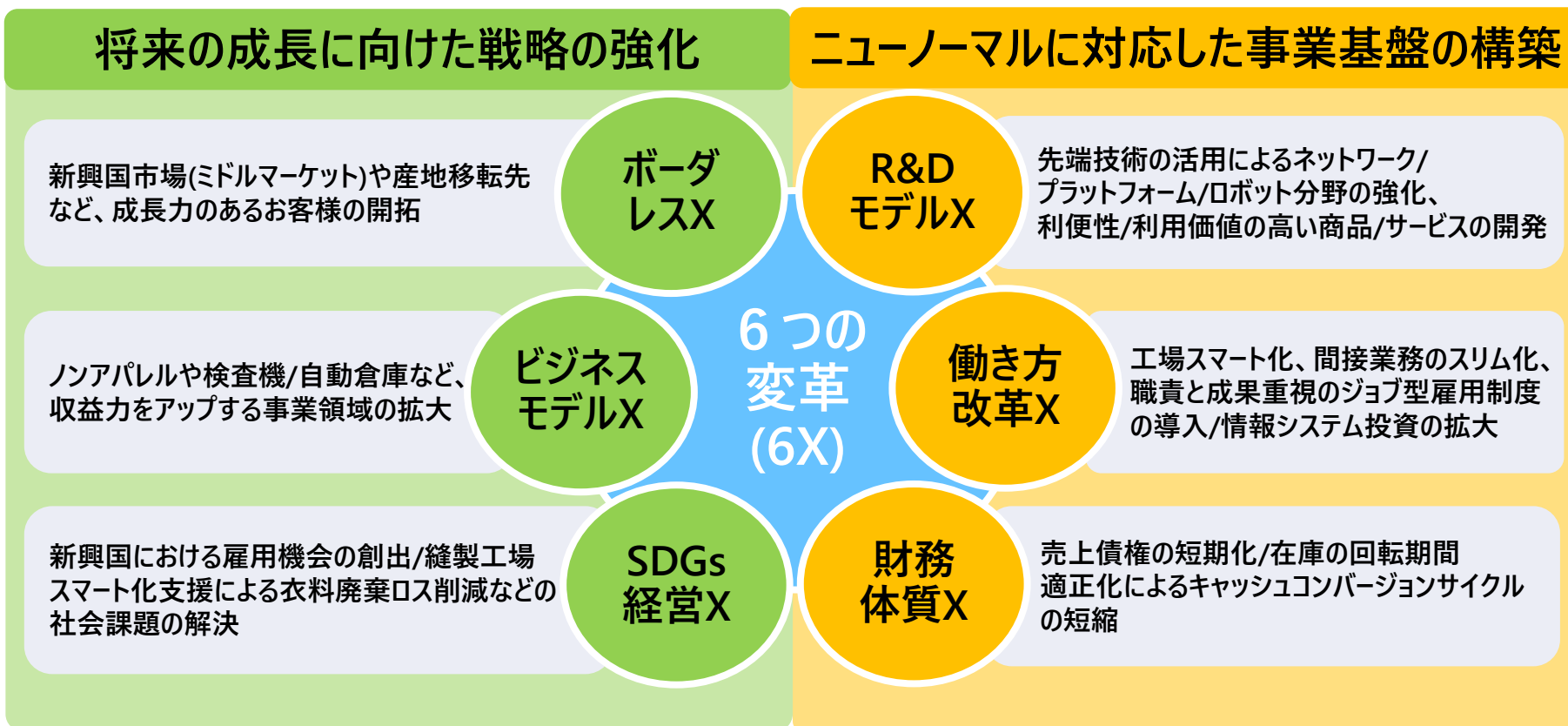
産業装置: 各マウンタメーカーはライン総合提案に向け、事業領域を拡大
⇒ 競争は更に激化し、低価格化が進む

社会的要請

- ・カーボンニュートラル等、環境負荷低減に向けた取り組みへの対応
- ・働き方改革の推進(デジタル化、リモートワーク、ダイバーシティ)
- ・コンプライアンスの遵守/コーポレートガバナンスの強化

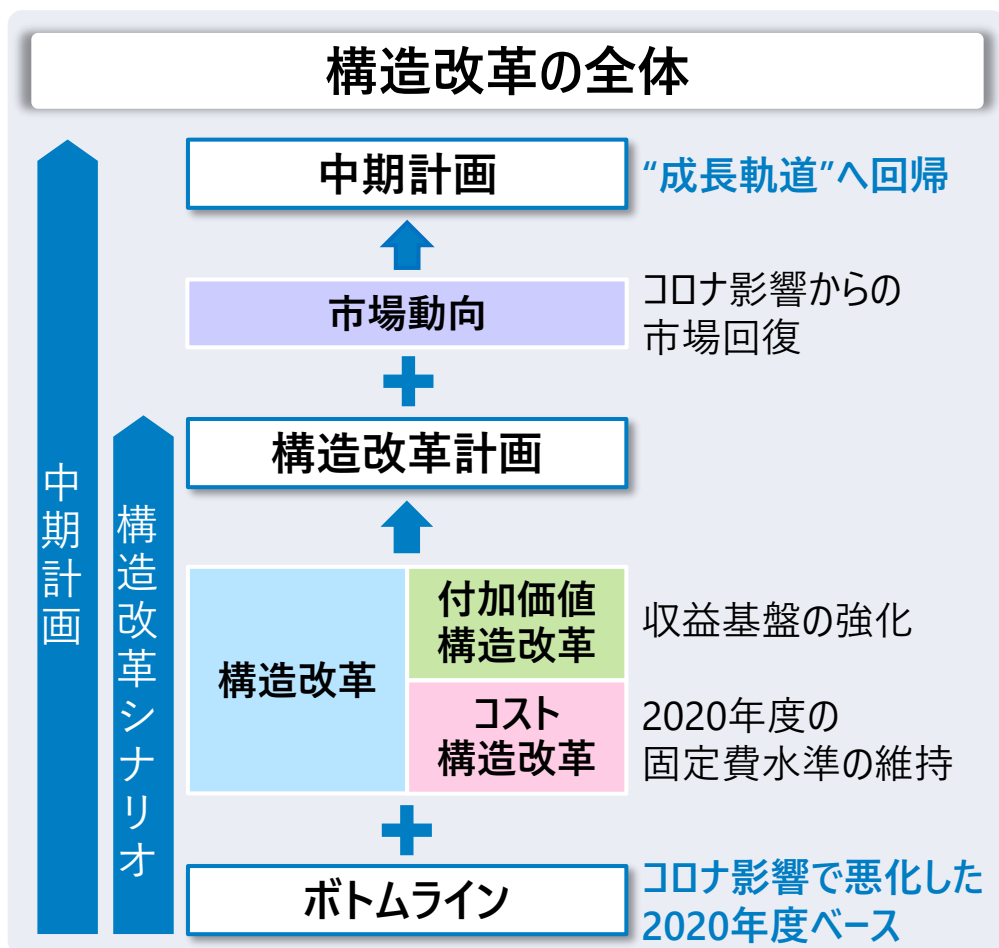
6つの変革(6X※) = JUKIの成長エンジン(※X=Transformation)

これら6つの変革に向けた取り組みを重点とし、構造改革のスピードを更に加速



2021-2022 中期経営計画 -基本的考え方-

- コロナ影響は2021年下期より回復基調、2022年は2019年水準の経済活動へ回復
- コスト構造改革で固定費の岩盤水準を維持、付加価値構造改革で収益基盤を強化
- 6つの変革(6X)を軸に“稼げるモデル”への変革を加速させ、“成長軌道”へ回帰



6つの変革(6X)

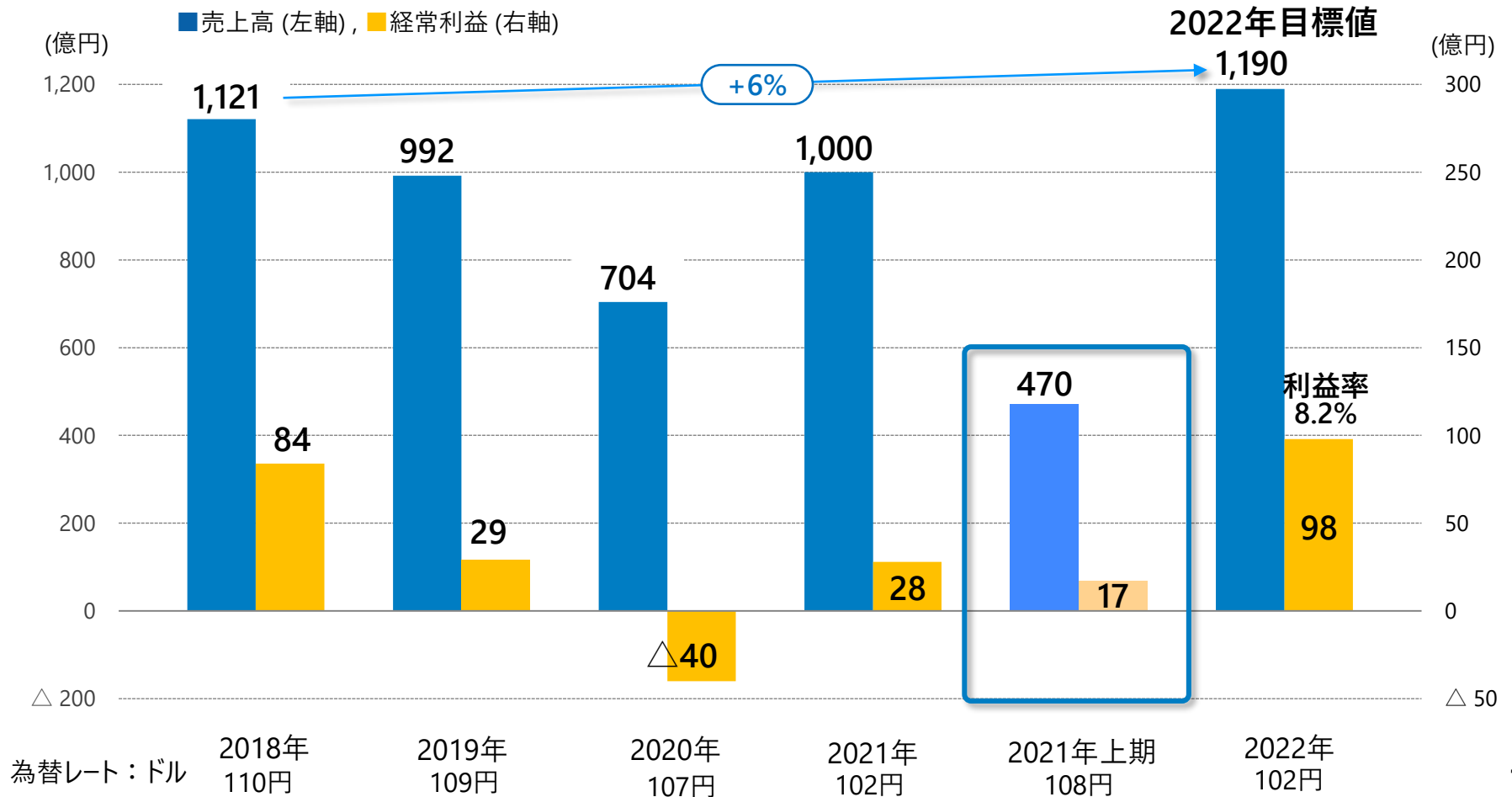
成長戦略	①ボーダレスX
	成長力のある市場・お客様の開拓
	②ビジネスモデルX
	収益力をアップする事業領域の拡大
事業改革	③SDGs経営X
	“持続可能”な経営の実現
事業改革	④R&DモデルX
	イノベティブな事業領域の拡大
	⑤働き方改革X
	経営の5Sを軸とした生産体制及び管理（間接）業務体制の構築
事業改革	⑥財務体質X
	財務体質強化による自己資本強化と資産効率向上

2021-2022 中期経営計画 進捗状況 -売上高/経常利益-

売上高 : 2021年上期 470億円 (2021年計画対比: 47%の進捗率)

経常利益 : 2021年上期 17億円 (2021年計画対比: 60%の進捗率)

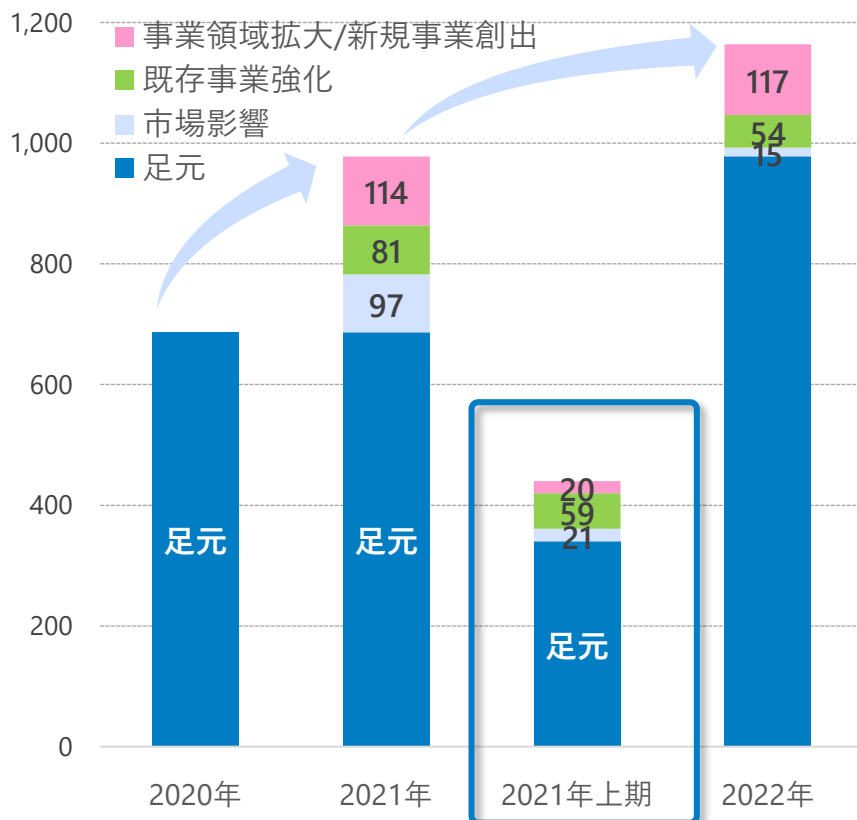
売上高・経常利益



「顧客基盤の強化」に向けた取り組みは進む一方で、
「高付加価値事業分野の拡大」を軸とした取り組みの強化が課題

付加価値構造改革

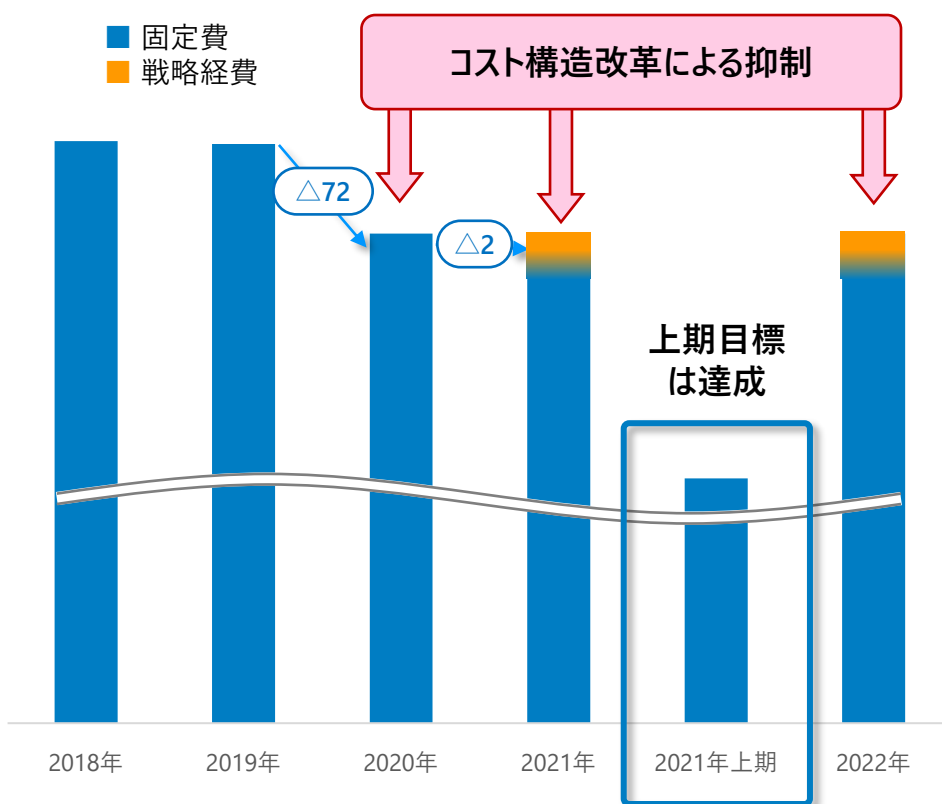
為替：計画レート基準（1ドル=97円，1ユーロ=110円）
（億円）



区分	主な取り組み
既存事業強化	顧客基盤の強化 (縫製: ミドルマーケットでの売上拡大 産装: グローバル顧客への対応強化)
事業領域拡大/ 新規事業創出	高付加価値事業分野の拡大による収益力強化 (縫製: ノンアパ/非縫製, 産装: 非マウンタ分野(MI・ロボット 検査/計測、自動倉庫) グループ事業: エンジニアリング事業 カスタマービジネス: サービス事業)

目標としている2020年固定費水準でのコスト構造改革は、順調に推移中

コスト構造改革



区分	主な取り組み
生産コスト改革	<ul style="list-style-type: none"> 工場スマート化の効果刈り取り 工場製造規模の適正化
人事コスト改革	<ul style="list-style-type: none"> 本社管理間接機能のスリム化 職責と成果主義のジョブ型雇用制度の導入 新勤務フォーメーションの徹底
販売コスト改革	<ul style="list-style-type: none"> 仕事改革による営業の生産性向上

事業環境の変化/施策の進捗を踏まえ、更なる企業価値向上に向けた取り組みを推進**1)事業領域拡大/
新規事業創出の強化**

- ・事業ポートフォリオの変革
- ・アライアンスの強化

2)SDGs経営の徹底

- ・主要事業での取り組み
- ・環境負荷低減に向けた取り組み
- ・カーボンニュートラルへの取り組み

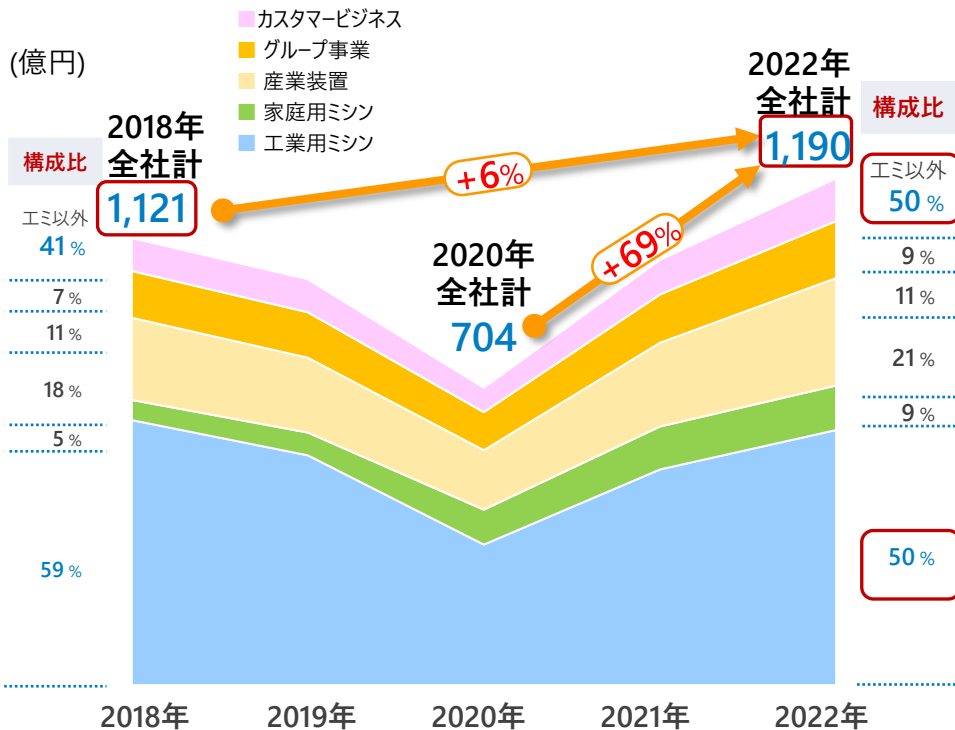
**3)ビジョンの実現に
向けた組織/人材の
強化**

- ・重点分野への投資
- ・ダイバーシティの推進
- ・オンラインツールの活用強化

既存事業の強化に加え、事業領域拡大・新規事業創出により、
工業用マシン以外の売上高構成比を2018年41%→2022年50%へ拡大

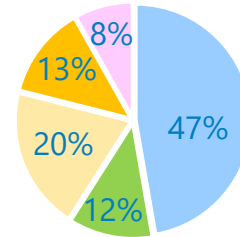
2021-2022ビジョン 事業ポートフォリオ

為替：計画レート基準（1ドル=97円，1ユーロ=110円）
（億円）

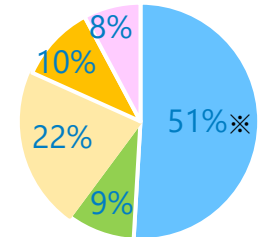


事業ポートフォリオ変革の進捗

2020年



2021年上期



※工業用マシンの需要回復により、2020年対比では増加

下期重点取り組み

工業用マシン: 高収益分野の営業力強化/
新商品の拡販

産業装置: 非マウンタ/非SMT分野の販売拡大

グループ事業: エンジニアリング事業強化

カスタマーサービスC: サービス事業拡大

自社だけでなく、他社とのオープンイノベーションを更に強化
他社との連携強化により、高付加価値分野への取り組みを更に加速

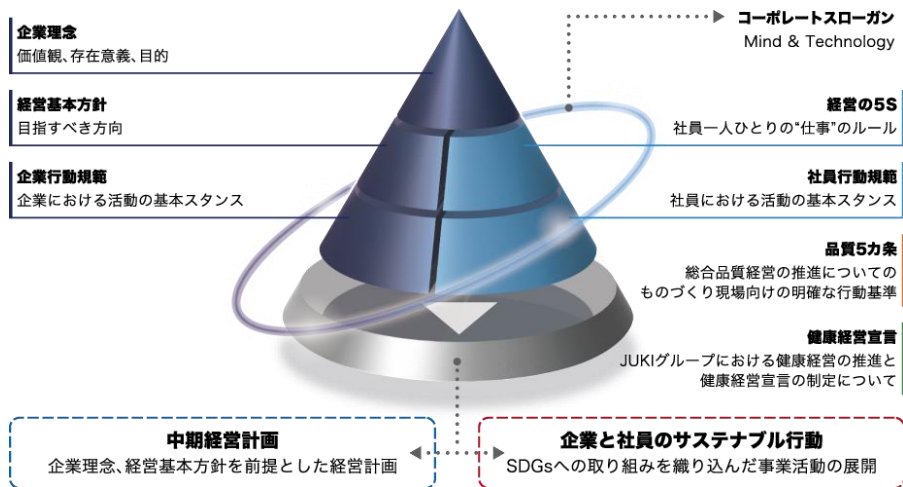
主なアライアンス

セグメント	会社名	提携種類	提携開始	主な取り組み
縫製機器	ペガサスミシン製造株式会社	事業提携	2021年4月	ニットのミドル市場向け工業用ミシンの開発と新規開拓
	YKK株式会社	技術提携/商品開発	2019年3月	ファスナーの自動縫製機の開発/生産
産業機器	ESSEGI AUTOMATION S.r.l.	資本提携	2019年8月	電子部品の自動倉庫の開発/生産
	株式会社XTIA	技術・生産提携	2020年2月	XTIA社のレーザー技術とJUKIの外観検査技術による領域拡大
	株式会社日立製作所	事業提携	2018年10月	日立グループとの“協創”による事業拡大
	シークス株式会社	資本提携 (合併会社設立)	2012年7月	上海シークスによる電装製品供給
	株式会社カスタム	事業提携	2021年4月	製造領域・技術を活用した受注領域の拡大

当社とステークホルダー双方にとって重要な社会課題の解決に向け、
事業を通して取り組む

“持続可能”な経営の実現

JUKI企業理念図



JUKIは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

JUKIの取り組み内容	社会課題の解決	関係するSDGs
<ul style="list-style-type: none"> ● 新興国における雇用新規創出 縫製機器の安定供給と工場労働者への職業教育支援 ● 安全/安心な縫製工場構築のための支援 ● 縫製工場のスマートファクトリー化 実装工場の前後工程インフラの自動化 ● 事業活動を通じた環境負荷低減活動 ● 製品ライフサイクルにおける負荷低減 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雇用機会の創出/ 様々な人材の社会参加推進 ● 労働安全衛生の確保 ● 電子産業の生産性向上による 技術革新支援 ● 環境負荷の低減 脱炭素化/ 衣料廃棄ロス削減への貢献 	

新興国における雇用新規創出/職業教育支援



- 工業用マシン事業を通じた新興国の産業創出と経済発展の支援
(事例) カンボジア「ガーメントトレーニングセンター」設立支援と技能実習を足掛け9年に亘り実施。縫製業が同国最大の輸出産業に発展したことに貢献。現在は各国トレーニングセンターの工場経営者/マシン保全担当/オペレーター向けの教育支援を展開中

安全/安心な縫製工場構築のための支援



- ものづくりの手を止めず挑み続けるお客様への支援
(事例) 工業マシン事業では、「職場の安心・安全を守る提案」、「リモート・オンラインによるサポート」、「事業・生産の多角化提案（マスク・防護服製造）」により、新型コロナウイルスと戦いを続ける縫製現場をサポート

実装工場の前後工程インフラの自動化



- 産業装置事業を通じた電子産業の技術革新の支援
(事例) 自動倉庫や後工程の自動化装置、基幹システムとの連携を可能にするシステムの提供により、人手のかかる実装ラインの前後工程を省人化・自動化をサポート

事業活動を通じた環境負荷低減活動



- CO2・廃棄物・揮発性有機化合物(VOCs)などの排出削減
(事例) 重機（廊坊）工業有限公司では、燃焼式VOCs浄化設備を新たに導入し、中国における工業企業揮発性有機化合物排出標準量を遵守



- 自然エネルギーの有効活用
(事例) JUKIベトナム(株)では、CO2排出量を減らすため、第4工場に太陽光パネルを2,200枚設置する等、環境に配慮したものづくりを推進

製品ライフサイクルにおける負荷低減



DDL-8000Aシリーズ

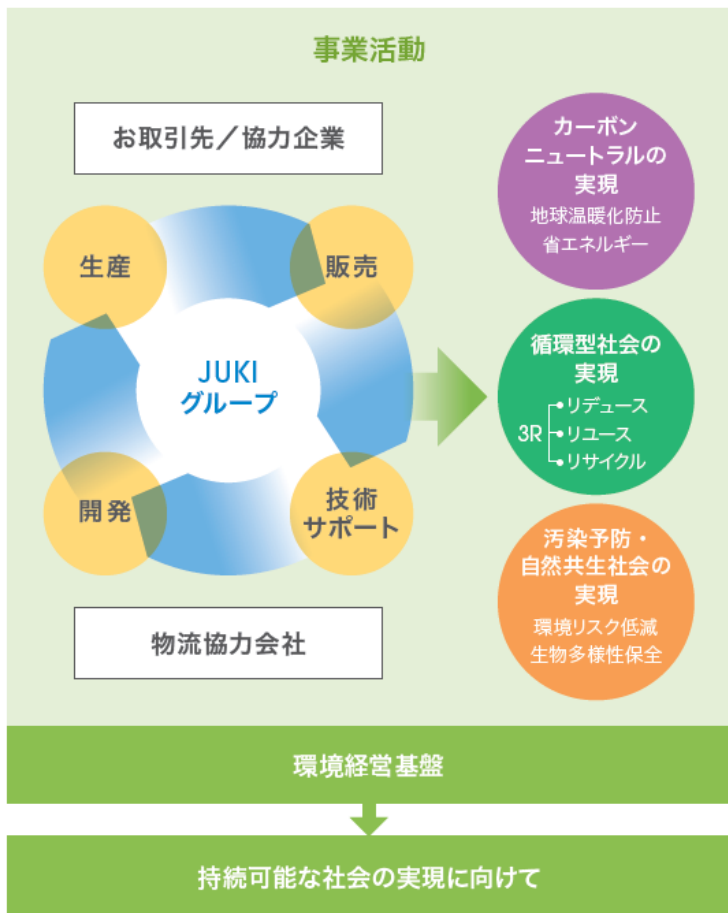
ダイレクトドライブ高速1本針本縫自動糸切りミシン

ECO POINT 待機消費電力61.1%削減 JUKI ECO PRODUCTS

- 製品ライフサイクル全般における環境への配慮
(事例) グリーン調達ガイドラインを定め、協力会社と連携した部品購買を実施。また38項目の評価により、低い環境負荷を実現した製品を「JUKI ECO PRODUCTS」として認定。更なる環境負荷低減に向けた製品の企画・開発を実施

気候変動をはじめとした地球環境問題は深刻度を増す中、
JUKIはこれまでの取り組みを更に高め、2050年カーボンニュートラル実現を目指す

【環境ビジョン】



【カーボンニュートラルに向けた取り組み】

調達/ 物流		<ul style="list-style-type: none"> グリーン調達の強化/リサイクル材の使用率向上 更なるモーダルシフトへの切替
開発		<ul style="list-style-type: none"> 省エネ・省資源な製品の開発 リサイクル性の高い素材の活用
生産		<ul style="list-style-type: none"> 低炭素な燃料への切替 よりスマートな生産方式への切替
建物		<ul style="list-style-type: none"> 太陽光パネルの導入推進 省エネルギー設備への切替推進
製品/ サービス		<ul style="list-style-type: none"> お客様工場のスマート化/省エネルギー化の支援 中古機の引取/再生販売

ニューノーマルの中を逞しく生きるため、組織/人材強化に向けた取り組みを推進

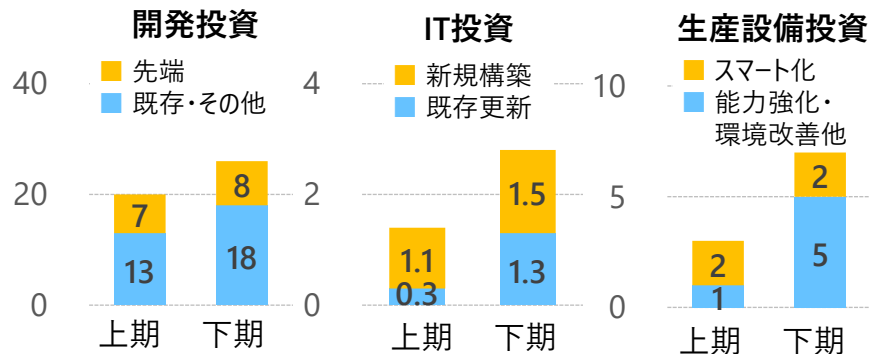
重点分野への投資

開発: 領域拡大や新規事業分野での開発投資

IT: 新しい経営体制を支援する情報システムの整備
スマートツール活用による業務効率化

生産: 新規事業、領域拡大に向けた生産設備投資

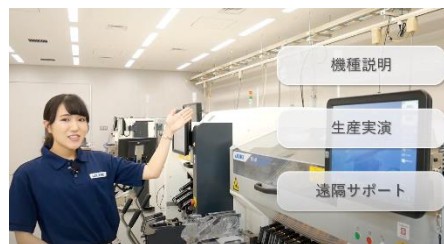
【下期投資計画】



【女性活用強化に向けた目標値】



【産業装置事業でのオンラインでのデモンストレーション】



ダイバーシティの推進

- ・女性活用強化に向けた取り組みの推進
- ・選択型勤務日制度/在宅勤務制度の導入
- ・社員一人ひとりにあったキャリアプランの策定

オンラインツールの活用強化

- ・顧客向けのオンライン商談/イベントの実施
- ・eラーニングやオンライン研修による若手/中堅社員への教育実施

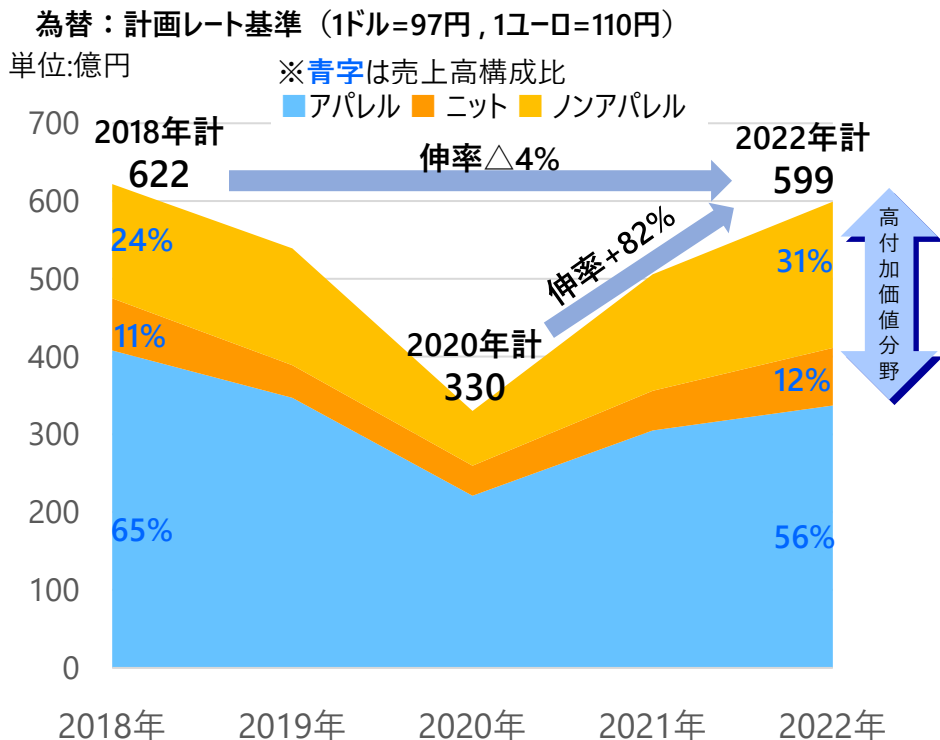
ビジョン

JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献

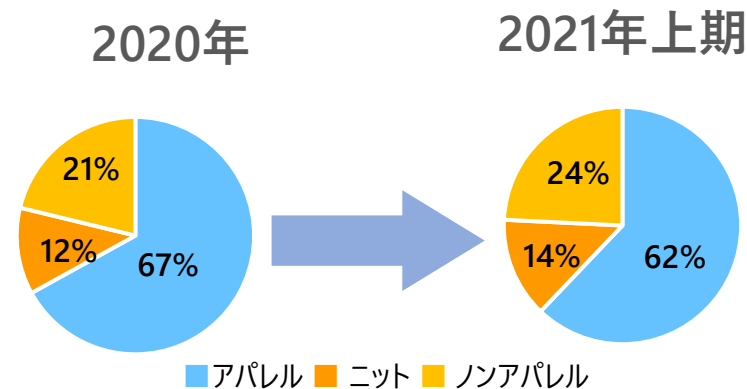
基本方針

- ・アパレル/ノンアパレルでのシェアNo.1堅持
- ・ニット分野の対応強化

2022年目標値



事業ポートフォリオ変革の進捗



下期重点取り組み

- ・新興国ミドル市場向け機種を展開によるシェア拡大
- ・ノンアパレル体制強化と領域拡大

最適な製品/システム提案により、お客様工場の“スマートファクトリー化”を支援

JUKIの3つのコミットメント

①自動化



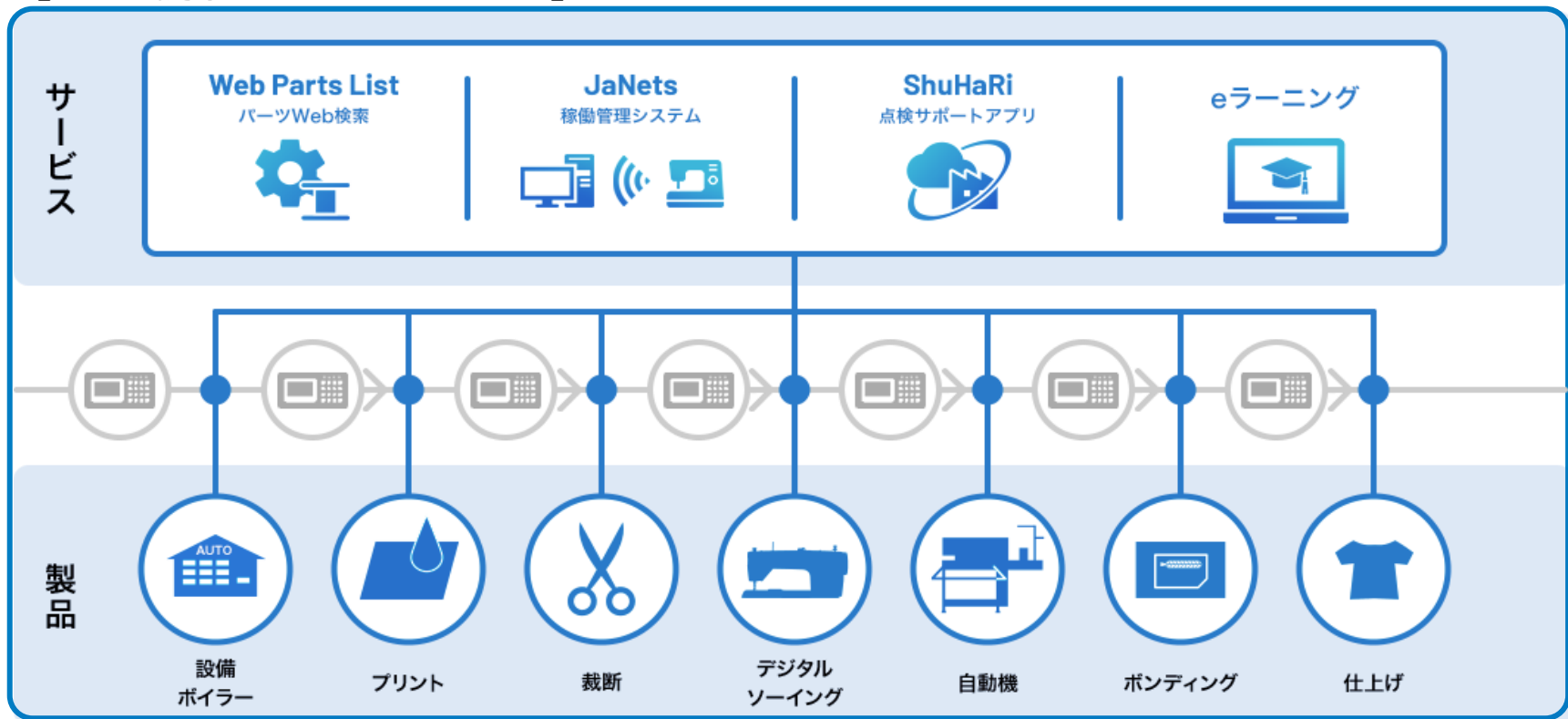
②デジタル化



③ネットワーク化



【JUKIが提案するラインソリューション】



ビジョン

趣味力の高いお客様 (Home Sewer) と新たな楽しみの創造

基本方針

強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルトを中心に事業を拡大

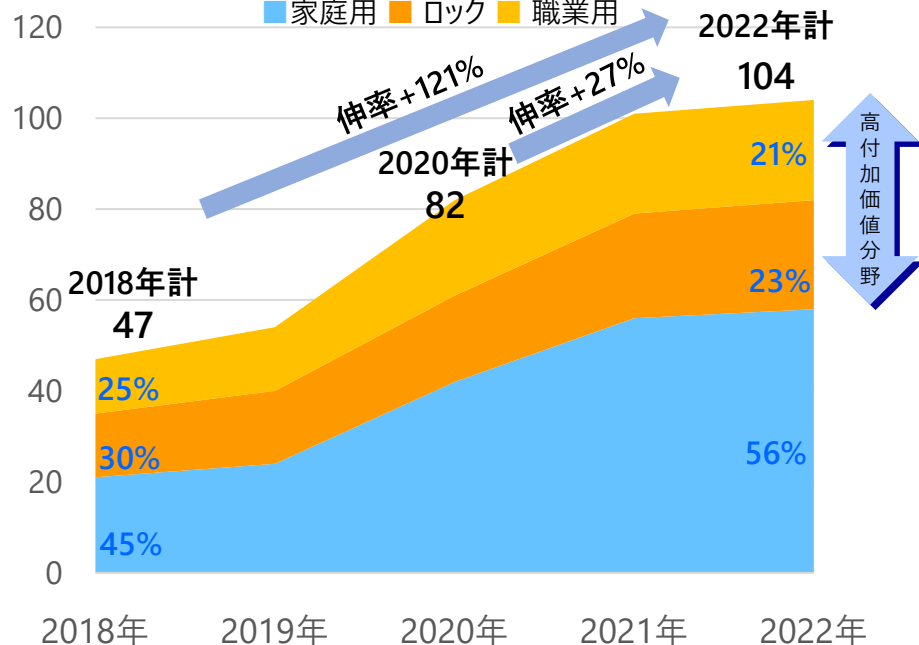
2022年目標値

為替：計画レート基準 (1ドル=97円, 1ユーロ=110円)

(億円)

※青字は売上高構成比

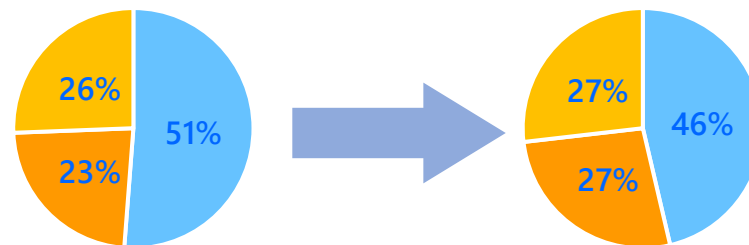
■家庭用 ■ロック ■職業用



事業ポートフォリオ変革の進捗

2020年

2021年上期



■家庭用 ■ロック ■職業用

下期重点取り組み

- ・新製品による拡販
- ・SNSやWEBソーイングフェスティバル等による情報発信を通じた新規ユーザー獲得

お客様の新しい価値創造に繋がるJUKIミシン/サービスの展開

豊富なラインナップ



ユーザー目線での
機能や操作性



手作りサポートコンテンツ
(動画・セミナー)



“リアルでもデジタル”でも、お客様の“コトづくり”を支援



ビジョン

既存分野での事業基盤拡大と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ ~ 高速機市場の販売拡大(中国)、自動化・省人化(JM+ロボット・検査計測・ISM強化)

基本方針

非マウンタ領域でのソリューション拡大・顧客開拓と、マウンタ領域での高速機強化によるラインソリューション拡充で事業基盤を拡大

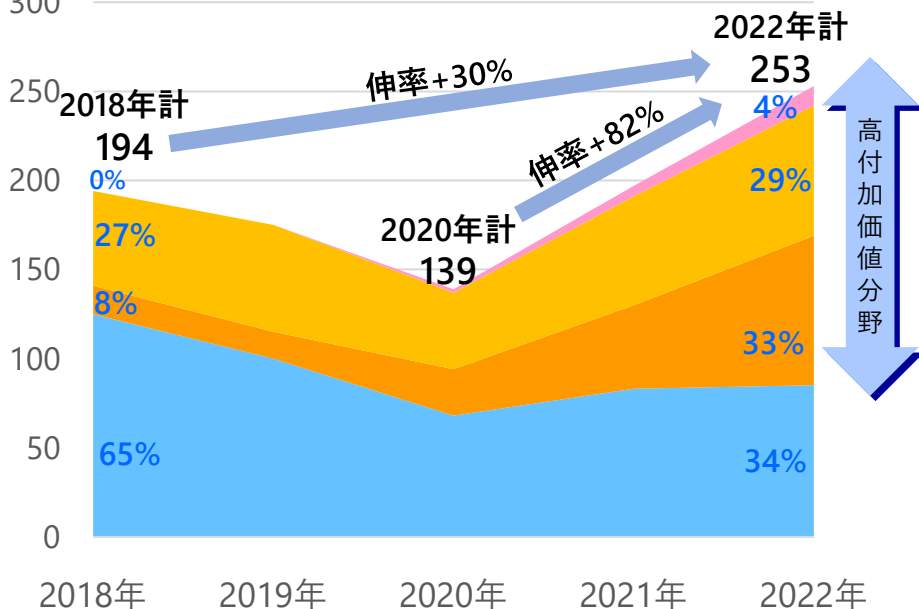
2022年目標値

為替：計画レート基準 (1ドル=97円, 1ユーロ=110円)

(億円)

※青字は売上高構成比

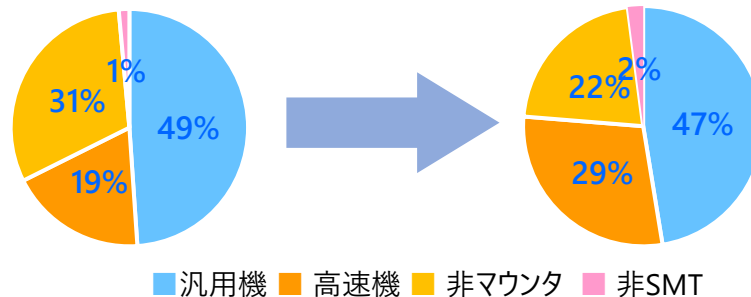
汎用機 高速機 非マウンタ 非SMT



事業ポートフォリオ変革の進捗

2020年

2021年上期



下期重点取り組み

- ・新製品RX-8 (高速機) とJM50 (挿入機) の拡販
- ・非マウンタ製品(自動倉庫・JM+ロボット・検査+計測)での継続的な市場開拓

JUKI Smart Solutions

アライアンスの深化と自動化の追求で更に事業領域を拡大



倉庫管理の自動化



後工程・組付の自動化



検査・計測の自動化

実装統合システムソフトウェア

JaNets
Juki Advanced Network system

基幹システム連携

外部規格連携

遠隔サポート

AI予知保全

生産・設備可視化

装置間連携

他社連携

ストレージ管理システム

マウンタ・検査機・後工程マウンタ

ロボットシステム

検査・計測システム



部品供給管理領域

SMT領域

手挿入領域

組立領域

検査・計測領域

拡大事業領域

既存事業領域

拡大事業領域

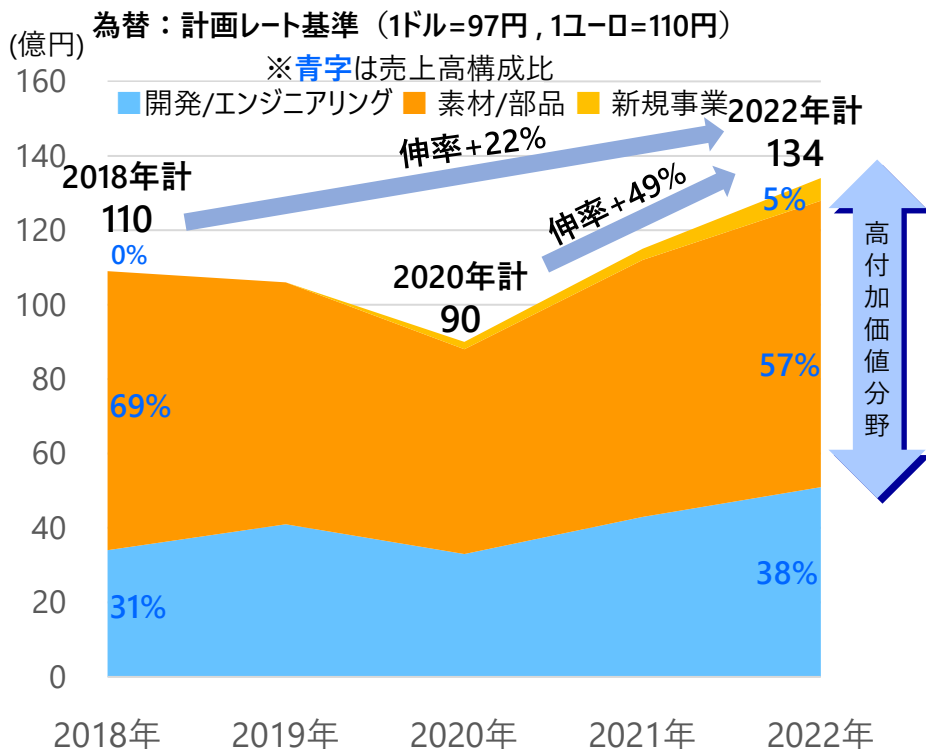
ビジョン

JUKIグループの経営資源（製造技術含む）を活かし、JUKI第三の柱へ

基本方針

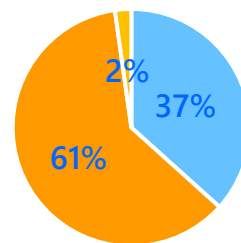
新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大で第三の柱となるべく売上を拡大

2022年目標値

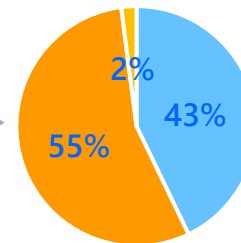


事業ポートフォリオ変革の進捗

2020年



2021年上期



開発/エンジニアリング 素材/部品 新規事業

下期重点取り組み

- ・エンジニアリング事業の強化
- ・新規商材の拡販
- ・アジア地区での販売拡大

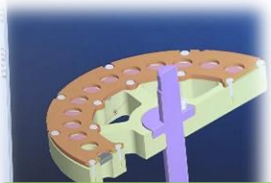
3つの強みを活かしたJUKIの受託開発・受託製造の拡大

【生産力】～一気通貫で行う生産体制～

企画・開発から組立までをワンストップで行うエンジニアリング事業



企画・開発



設計



素材



加工



組立

【提案力】～設備の自動化/見える化～

重労働作業や単純反復作業のロボット化や、生産性の高いラインへの改善や生産の見える化



【技術力】～マシン/マウンタで培ったノウハウの発揮～

「人」と「資材・設備」による高品質なものづくり

工業用ミシン



家庭用ミシン



チップマウンタ



【人】

技能者

開発・製造
ノウハウ

【資材・設備】

資材調達

開発・製造設備

受託開発・製造

設計開発
開発支援

一貫生産

ユニット生産

部品生産

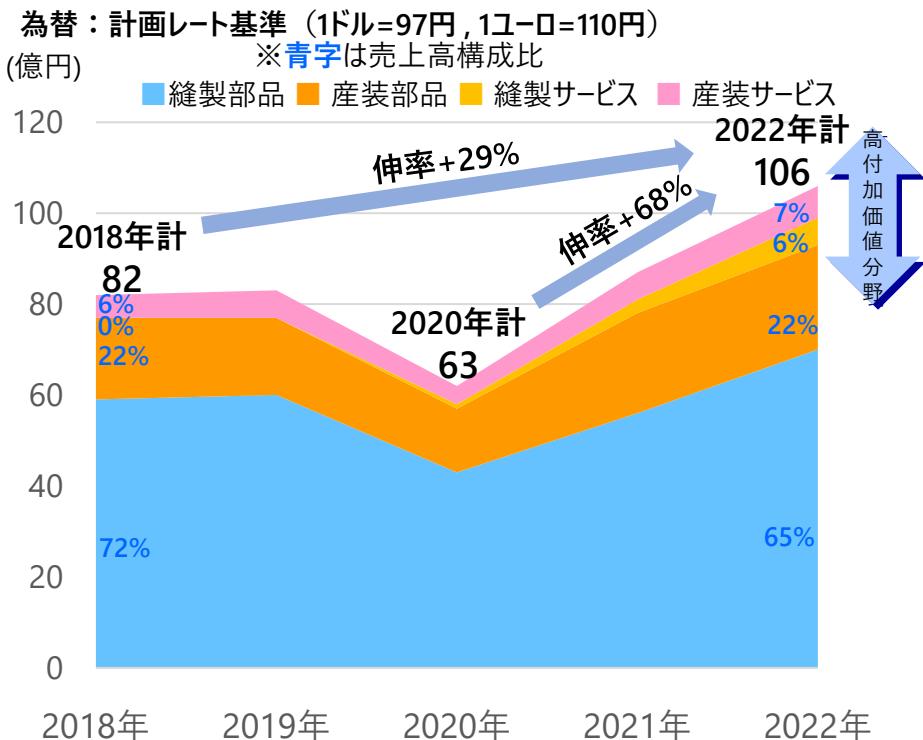
ビジョン

今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品

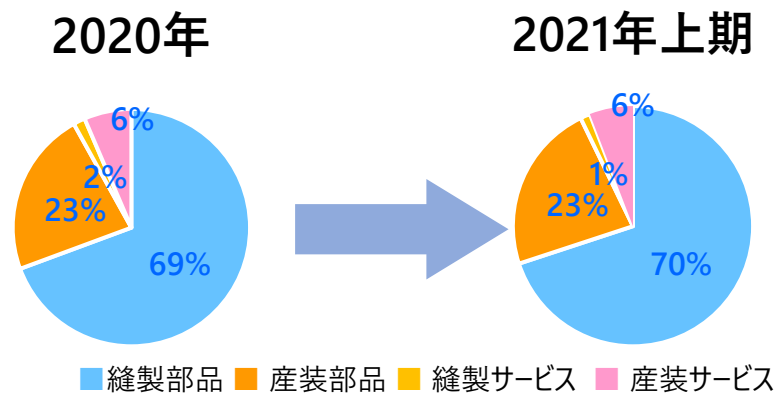
基本方針

縫製、産装の垣根を越えて『モノ』売りから『コト』売りへ
～付加価値拡大にて顧客囲い込み加速～

2022年目標値



事業ポートフォリオ変革の進捗



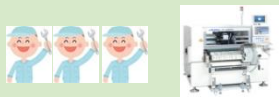
下期重点取り組み

- ・縫製 JUKI ShuHaRi (ミシン点検サポートアプリ) による部品販売
- ・産装 リモートサービスによる保守サポート部品販売

パーツ/サービスBiz拡大



- ・縫製: JUKI ShuHaRi (ミシン点検サポートアプリ) によるパーツ拡販
- ・産装: トレードインビジネスの再構築



Withコロナ、Afterコロナ
お客様支援



・eラーニング



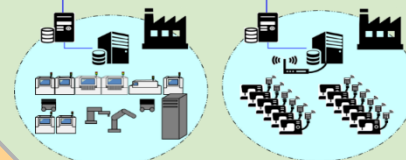
・遠隔サポート

スマートライン導入における
アフターサービス事業拡大

設備予防
保全管理



設備予兆
保全管理



Smart Solutionへの対応

在庫最適化
管理システム



パーツ供給体制
パーツセンター/販社倉庫

活動を支える後方支援



- ・パーツWebサイト
- ・JOL

情報共有、発信の為の
ネットワークシステム

協力会社とのオープンイノベーション

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI 株式会社

お問合せ先：経営企画部 担当：鴨居田

TEL：042-357-2294 FAX：042-357-2399

ホームページURL：<https://www.juki.co.jp/>